## 別紙様式 45

回復期リハビリテーション病棟入院料及び特定機能病院リハビリテーション 病棟入院料におけるリハビリテーション実績指数等に係る報告書

保险	食医療	療機関名											
郵值	更番を	<del>-</del>											
住瓦	f												
報台	年月	田田											
直边	íの幸	<b>设告年月日</b>											
届出	1入院	<b>完料</b>	□ 回復	類リハヒ	<u>゛リ・</u>	テーシ	ョン症	·	、院料	<del> </del>			
			□ 特定	<b>E機能病院</b>	記りん	ハビリ・	テーシ	ノョン	病棋	<b>人</b> 阿	完料		
	リテー	機能病院リハビ -ション病棟入 患者数			–							-	
1.	<b>巡</b> 傑	思有奴		( )	月	(	)月	(	)	月	(		月
	前日	までの6か月	間に同復	/ /	73		/ /7		/	73			
2		ハビリテーシ			名		名			名			名
)		退棟した患者			1		-						-
2.	1日	当たりのリハ	ビリテーシ	/ョン提供!	単位	数							
1					(	)月	(	)月	(	) 月	₹	( )	)月
	前月	までの6か月	月間に回復	期リハビ									
3		ーション病権				日		日		E	a		日
•		リハビリテ-	_	要する状				-		_	-		
		患者の延べ入									$\perp$		
		までの6か月											
4		提供された組織				単位		単位		単位	<u>ታ</u>	単	单位
	ンョ v)	ンの総単位数	( (   +    +	- III + IV +									
	<b>v</b> )	前月までの	6 か日問に	③の串考									
			提供された心大血管疾										
	i	患リハビリ <del>゙</del>				単位		単位		単位	<b>ኔ</b>	単	单位
再		数		- 1.5   1									
掲		前月までの	 6 か月間に	3の患者									

単位

単位

単位

単位

に対して提供された脳血管疾患

等リハビリテーションの総単位

ii

数

	iii	前月までの6か月間に③の患者 に対して提供された廃用症候群 リハビリテーションの総単位数	単位	単位	単位	単位
	iv	前月までの6か月間に③の患者 に対して提供された運動器リハ ビリテーションの総単位数	単位	単位	単位	単位
	٧	前月までの6か月間に③の患者 に対して提供された呼吸器リハ ビリテーションの総単位数	単位	単位	単位	単位
<b>⑤</b>		当たりのリハビリテーション提  位数 (④/③)	単位	単位	単位	単位

## 3. リハビリテーション実績指数

1		( )月	( )月	( )月	( )月
	前月までの6か月間に回復期リハビリ				
<b>6</b>	テーション病棟を退棟した回復期リハ	名	名	名	名
	ビリテーションを要する状態の患者数				
(7)	⑥のうち、リハビリテーション実績指	名	名	名	名
$\bigcup$	数の計算対象とした患者数	Q —	1	1	П
	⑦の患者の退棟時のFIM得点(運動				
8	項目)から入棟時のFIM得点(運動	点	点	点	点
	項目)を控除したものの総和				
	⑦の各患者の入棟から退棟までの日数				
9	を、当該患者の入棟時の状態に応じた				
9	回復期リハビリテーション病棟入院料				
	の算定日数上限で除したものの総和				
10	リハビリテーション実績指数(⑧/⑨)	点	点	点	点

## 4. 除外患者について(届出の前月までの6か月について以下を記入する。)

① 届出の前月までの6ヶ月	()月	( )	( )	( )	( )	( )
		月	月	月	月	月
① 入棟患者数	名	名	名	名	名	名
③ 高次脳機能障害患者が退棟 患者数の40%以上であるこ とによる除外の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
(4) ③による除外がある場合は 除外後の入棟患者数(③が有 の場合のみ)	名	名	名	名	名	名
(事) リハビリテーション実績指 数の計算対象から除外した患 者数	名	名	名	名	名	名
16 除外割合 (15÷(⑫又は⑭))	%	%	%	%	%	%

5. 高次脳機能障害患者が40%以上であることによる除外について(®が有の場合には、 それぞれ®の7か月前から前月までの6か月間の状況について記入。)

W / \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	()月ま	()月	()月	()月	()月	()月
※( )にはそれぞれ⑪の前月を   記載	での	までの	までの	までの	までの	までの
山野	6か月	6か月	6か月	6か月	6か月	6か月
① 6か月間の退棟患者数	名	名	名	名	名	名
18 ①のうち、高次脳機能障害の患者数	名	名	名	名	名	名
<ul><li>⑨ 高次脳機能障害患者の割合 (®÷①)</li></ul>	%	%	%	%	%	%

6. 前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施 (あり・ なし)

## [記載上の注意]

- 1. ①については、毎年7月に報告する際には、前年10月、当該年1月、4月及び7月について記入する。別の月に報告する際には、報告を行う月及び報告を行う月以前で1月、4月、7月及び10月のうち直近の月について記入する。ただし、新規に当該入院料の届出を行うなど、当該月について算出を行っていない項目については、記入は不要である。
- 2. ②はリハビリテーション実績指数の計算対象となったものに限る。
- 3. ④は選定療養として行われたもの及びその費用が回復期リハビリテーション病棟入院 料に包括されたものを除く。
- 4. ⑫は入棟時に回復期リハビリテーションを要する状態であったものに限る。
- 5. ⑤の除外患者数は、入棟日において FIM運動項目の得点が 20 点以下若しくは 76 点以上、 FIM認知項目の得点が 24 点以下、又は年齢が 80 歳以上であったことによりリハビリテーション実績指数の計算対象から除外したものに限る。
- 6. ⑯の除外割合は、⑬が「有」の場合は⑮÷⑭、「無」の場合は⑮÷⑫とする。
- 7. ①は在棟中に回復期リハビリテーション病棟入院料を算定した患者に限る。
- 8. ③、®、⑨の高次脳機能障害とは、「基本診療料の施設基準等」別表第九に掲げる「高 次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷 の場合」に該当する、回復期リハビリテーション入院料が算定開始日から起算して 180 日以内まで算定できるものに限る。
- 9.「前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施」については「あり」又は「なし」の該当するものを〇で囲むこと。